

2 令和4年度の主な取組

I 消費動向の変化を見据えた販売戦略の展開

新たなブランド商品の育成

取組概要

「ジュノハート」や「青い森紅サーモン」、「青森きくらげ」について、生産者や流通業者、研究機関、行政等が連携して生産・販売体制を整備するとともに、首都圏の百貨店等や、品目に応じた各種メディアでの情報発信・PR活動を展開しました。



伊勢丹新宿店における「ジュノハート」のPR



県内スーパーにおける「青い森紅サーモン」のPR



チラシや動画による「青森きくらげ」の食べ方提案

県産米新品種「はれわたり」のデビュー

取組概要

県産米新品種「はれわたり」の令和5年産での全国デビューに向けて、キービジュアルデザインを制作・発表したほか、県内限定で先行販売し、店頭での知事トップセールスやプレゼントキャンペーンなどを実施しました。

また、良食味・高品質米の安定生産に向けて、指導力向上を図る研修会を開催するなど、生産指導体制の整備に取り組みました。



キービジュアルデザイン発表



県内先行販売日の知事トップセールス



冷凍食品産業の振興

取組概要

冷凍食品市場が拡大し、国産の原材料に対するニーズが高まっていることから、県産農林水産物を産地で冷凍する高品質な冷凍野菜等の商品開発や、加工事業者が取り組む冷凍の惣菜・スイーツ等の商品化を支援しました。



商品化した冷凍野菜

Ⅱ 労働力不足の克服と安全・安心・高品質生産

労働力不足の克服

取組概要

1 労働力の確保

多様な農業労働力を確保するため、企業を対象とした農作業体験会の開催や通年でのマッチングを推進し、補助労働力の掘り起こしに取り組んだほか、若者を中心とした「常雇い」や外国人材の安定確保に向けた支援に取り組みました。



企業従業員向けの農作業体験会（ねぎ調整）

2 省力・低コスト化の推進

民間企業等と連携し、本県に適した「スマート農業」技術の開発を促進するとともに、普及拡大に向けた現地実証や人材育成に取り組みました。

また、りんごの生産効率を高める観点から、剪定枝収集機や肥料散布機など農業機械の導入効果を検証するとともに、高密度植わい化栽培をはじめとする省力樹形について収益性の調査などに取り組みました。



農業用ドローンの操作実習



りんごの高密度植わい化栽培



アシストスーツによる軽労化作業

にんにく新品種「あおもりふくゆき青森福雪」の普及に向けた取組

取組概要

県産業技術センターが育成したにんにく新品種の名称を庁内公募し、青森県在来種の福地ホワイトから選抜した品種で雪のように白いことを表現した「青森福雪」に決定・発表しました。

また、県、農業団体、民間企業、関係市場、研究機関で構成する「青森県にんにく新品種『青森福雪』普及推進協議会」を設置したほか、現地技術実証ほにおいて新品種の特性把握を行いました。



新品種「青森福雪」



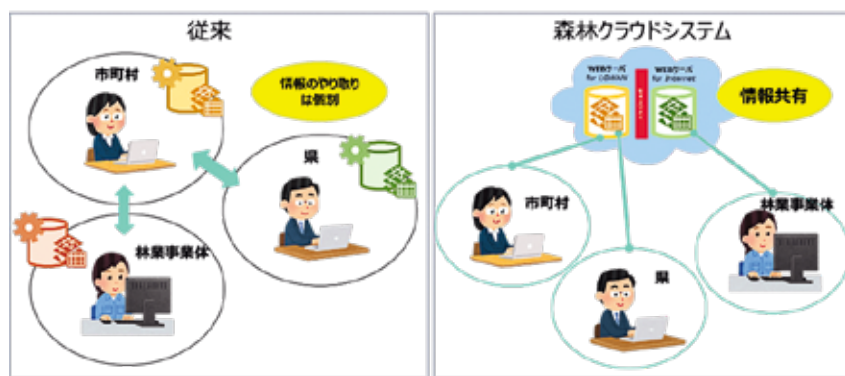
新品種現地技術実証ほでの検討

Ⅲ 山・川・海をつなぐ「水循環システム」の再生・保全

スマート林業の推進

取組概要

林業分野において、地理空間情報等の先端技術を活用し、森林施業の効率化・省力化や需要に応じた木材生産を可能とする「スマート林業」の取組が全国的に進んでおり、本県においても、県や市町村が個々に管理・保有している森林情報を林業事業者等と共有し相互に利用できる森林クラウドシステムの構築や、航空レーザ計測による森林資源解析を実施したほか、スマート林業機械等の導入を支援しました。



森林クラウドシステム



多目的造林機械

水田を活用した流域治水対策

取組概要

豪雨等に伴う洪水被害を軽減するため、農村地域の水田や農業用ため池が持つ雨水貯留機能の効果検証を行うとともに、周辺の農地・集落や下流域の浸水被害リスクの低減を図る「田んぼダム」の取組を農業者等の関係者と一体になって推進しました。



実証試験ほ場での現地説明会

沿岸から沖合までの一体的かつ広域的な漁場整備

取組概要

水産資源の増大に向け、魚類の産卵や稚魚の生息場所となる藻場をはじめ、幼魚の育成場、成魚の漁獲場所となる魚礁漁場を、沿岸から沖合まで一体的かつ広域的に整備する取組を進めました。



育成場に集まるウスマバル

Ⅳ 連携・協働・交流による活力ある農山漁村づくり

農福連携の取組拡大や農山漁村女性のネットワークを生かした地域づくりの促進

取組概要

農業側・福祉側の関係者が一堂に会する「青森県農福連携推進会議」を開催し、農福連携に踏み出しやすい環境の整備を進めました。加えて試行的に障がい者へ農作業を委託する「チャレンジ農福」の実施や「ノウフクJAS」取得に向けたセミナーの開催、特別支援学校教員と農業者の交流会による農福ニーズをつなぐ人材の育成などに取り組みました。

また、地域の活性化を図るため、加工品づくりや体験交流、農家民宿などに取り組む女性起業家を支援するとともに、起業活動に関心のある若手農村女性の育成に取り組みました。



特別支援学校教員と
農業者の交流会

農山漁村地域への誘客拡大

取組概要

国内外からの一般旅行客の誘客拡大を図るため、本県ならではの体験メニュー等を取り入れた「あおもり型グリーン・ツーリズム」のウェブによる情報発信等を行うとともに、教育旅行対策として、国内の旅行エージェント等の招請のほか、台湾の学校等との相互交流や訪問によるプロモーションを実施しました。

また、漁村のにぎわいを創出するため、漁港内の増養殖場や藻場を活用した漁業体験プログラム開発に取り組みました。



あおもり型グリーン・ツーリズム
体験メニュー紹介ページ



魚のさばき体験

農林漁業を基盤とした豊かな地域社会づくりの推進

取組概要

弘前市の「農事組合法人しみず」では、地域ぐるみで生産体制の強化や遊休農地の再生に取り組んでいるほか、農業機械等を活用した除雪や、地元の名所「久渡寺」での交流イベントの開催など、コミュニティの活性化に貢献する活動を行っています。

こうした活動が評価され、令和4年度豊かなむらづくり全国表彰事業において、農林水産大臣賞（東北ブロック最優秀事例）を受賞しました。



豊かなむらづくり表彰式の様子

V 農林水産業の成長と共生社会を支える人財育成

非農家出身の新規就農者の定着支援

取組概要

1 非農家出身者の再チャレンジ支援

近年、非農家出身の新規就農者が増加しているものの、経営基盤が脆弱であるため、所得水準が低い状況にあります。

このため、就農3～6年目の非農家出身者を対象に、経営改善を後押しすることとし、大雨により被災したいちご選果施設の復旧や、ミニトマト生産規模拡大のための自動かん水施設整備など、再チャレンジに要する経費を補助事業により支援しました。



浸水した選果施設



高台に新設し作業効率も向上した選果施設

2 青森県新規就農メンターの派遣

非農家出身で優れた経営を実践している先輩農業者を「新規就農メンター」として認定の上、就農希望者及び新規就農者へ派遣し、就農時の体験談や独立就農時の留意点などについてアドバイスを行いました。



メンターの派遣

3 第三者承継の推進

親族以外の者が後継者となり新規就農する第三者承継を広く県内に波及・定着させるため、モデルの確立に向けた県外専門家の伴走支援のほか、研修会等の開催による機運醸成や地元サポート人財の育成に取り組みました。



第三者承継した就農者（夏秋いちご）

「青い森林業アカデミー」の運営

取組概要

本県の森林資源が本格的な利用期を迎える中、林業の現場で必要となる知識や技術を習得し、将来的に地域林業の中核を担う現場技術者を育成する研修として、令和3年4月に「青い森林業アカデミー」を開講しました。令和4年度は7名の研修生が修了しています。

また、高校教諭対象の参観デーや一般向けオープンキャンパス、林業の仕事体験会などを開催しました。



研修の様子